

# 第105回世界の人とふれあいタイム

**フランス共和国**  
**エリック・マーティンス氏**  
 日時：2023年1月15日  
 (14:00~16:00)

会場：八王子市学園都市センター第5セミナー室  
 (フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』)

ゲストのエリック・マーティンス氏は、現在八王子に在住で2021年に来日しました。

唐突ですが、フランスと聞いてなにを思いうかべますか？多くの日本人は、「ベレー帽(現在は珍しい)を被った多くの観光客、何百種類のチーズ、ワイン、パリはファッション中心」ではないでしょうか。



【フランスの固定観念】 フランスへの旅行、フランスと日本の文化について」触れたいと思います。

フランスの歴史については、紀元前50年(2200年前)ガリア人の時代、ウェルキングトリスが中心となってローマ帝国と戦いましたが、カエサルに降伏しました。



【紀元真枝 50年:ガリア時代】

1789年にフランス革命がはじまり、ルイ16世の即位により、フランス王妃となったマリー・アントワネットのイメージは、さらに悪化その後両者は処刑されました。

悪化その後両者は処刑されました。

1815年にナポレオン・ボナパルトによりフランス皇帝は安定し1850年には蒸気機関や電気による経済移行により産業革命が起こりました。



さて現在の日本では考えられませんが、高校生のデモ活動(学校から許可が下りている)や、黄色いベスト運動(革命の遺産)も盛んに行われています。



【抗議する人たちの国】

次に旅行に出かけましょう。最初に訪れるのは、ストラスブール市(北東)でドイツとの国境です。



ここはクリスマスマーケットの町として有名で、シーズンになるとカラフルなイルミネーションや、寒い冬に温かいワインは最高です。

【ストラスブール市(北東)】

次はアルザス地方(北東)で。多くのコウノトリが生息している地域です。村は可愛く建物はドイツ風で自分たちの文化を持っていて、おいしい白ワインが有名です。



【アルザス地方(北東)】

リヨン市はフランス第二の都市で、今回ゲストのエリック・マーティンス氏の出身地で来日前の20年間、住んでいたそうです。ここは小道がたくさんあり、カジュアルな食事を提供してくれる素晴らしいレストランもあります。



【リヨン市(東)】

パリ市は、フランス最大の観光都市です。建築基準では、厳しいガイドラインがあります。しかし、全体的にゴミや渋滞やスリが多いところでもあります。



【パリ市(中北)】

この他にブルターニュ地方は、人口や訪問者が少なくゆったりと過ごせる場所で、美しい海や漁村はアイスランドに雰囲気は似ています。

日本の文化については、アニメと漫画に人気があります。その他、シラク大統領も相撲やすしも好きで日本の文化を愛したひとりです。



アンケート結果では、「毎回世界の国々の文化・歴史など生の声が聞けて大変楽しみ!」「世界的にリーダー力が強いフランス国に日本文化(食・美術等)が影響させていた!という話が面白かった」との回答を頂きました。

(世界の人とふれあいタイム委員長 生山 龍哉)